



広報資料

海氷情報センターの開所について

第一管区海上保安本部では、オホーツク海をはじめ北海道周辺海域の海氷が存在する海域を航行する船舶の海難事故を防止するため、12月20日（金）に「海氷情報センター」（センター所長：第一管区海上保安本部次長 吉本 直哉）を開所します。

海氷情報センターは、昭和45年の設置（別紙【資料1】参照）から今年で55回目の開所となります。

当センターでは、航空機や巡視船艇及び各海上保安部署による海氷観測（別紙【資料2】参照）のほか、協力機関から情報を収集、集約し、海氷速報及び航行警報等で海氷の分布状況等の情報提供を行います（別紙【資料3】参照）。

■ 情報提供関連 Web サイト

海氷情報センターホームページ

URL <https://www.1.kaiho.mlit.go.jp/KAN1/1center.htm>

海洋状況表示システム（海しる）

URL <https://www.msi.go.jp/msi/htm/topwindow.htm>



海水情報センター開設の経緯

択捉島 単冠湾(ひとかっぱわん)の漁船集団海難を契機に開設

【海難概要】

発生日:昭和45年(1970年)3月17日

概要:択捉島南方において作業中の沖合底引漁船19隻は発達した低気圧による大時化を避けるため、択捉島単冠湾に錨泊した。

この低気圧は、台湾南方海上で発生した低気圧と九州北岸の別の低気圧が日本列島を挟む形でそれぞれ発達し、3月17日にはオホーツク海で1つとなりゆっくり東北東に進んだ。

また、この年の流氷は例年になく優勢で、1月中旬に太平洋側へ流出が始まり、水温が低かったため流氷は溶けずに南下し拡張していた。

これらの条件が重なり、太平洋に南下していた流氷群は低気圧の接近に伴う強い東南東の風により択捉島南岸に吹き寄せられ、大時化の中で圧着集積して3~4ノットの異常な速度で単冠湾に流れ込んだ。

錨泊中の漁船のうち1隻は強風のため走錨圧流され陸岸に乗り上げ大破した。11隻は船体損傷を受けながらも自力で流氷群の外へ脱出したが、逃げ遅れた7隻のうち、流氷による損傷及び強風による船上への流氷の打ち込み等により2隻が転覆、3隻が沈没し、2隻は後日、曳航救助された。

大破した漁船を含めた遭難漁船8隻の乗組員114名のうち、30名が死亡または行方不明となった。



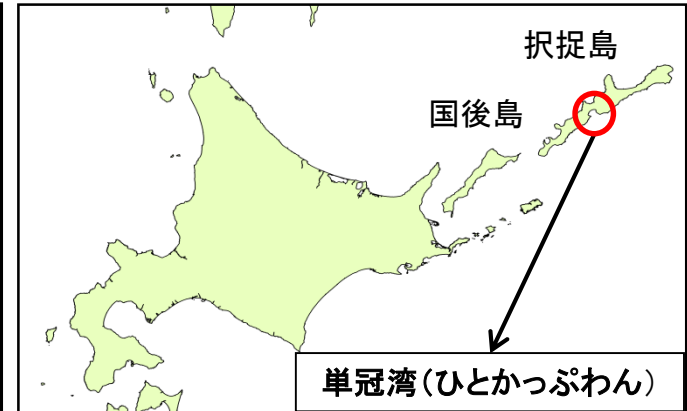
流氷観測通報体制の強化

北方水域における海氷の分布及び動向を迅速、かつ、的確に把握のうえこれを周知し、もって当該水域における海難の防止に資する。→ 流氷情報センターの開設を11月に決定。

昭和45年12月20日 **流氷情報センター開所**

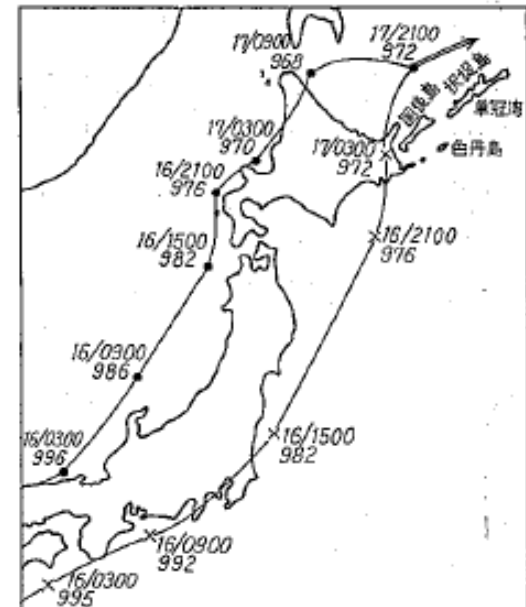
※平成19年12月、「流氷情報センター」を「海水情報センター」に名称変更

【海難発生場所】



【低気圧経路図】

S45.3.16~18



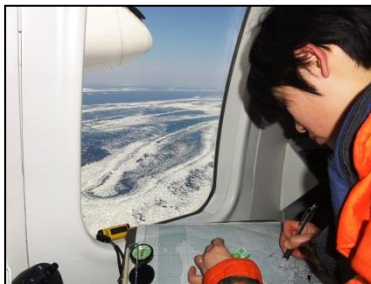
第一管区が行う海水観測について

1 航空機による海水観測

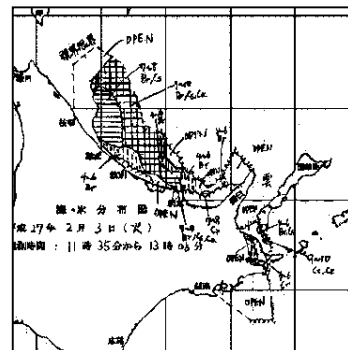
- (1) 観測海域：オホーツク海南西海域など
- (2) 観測時期：12月～4月
- (3) 観測概要：①海水域を飛行する航空機による目視観測の随時実施
②千歳航空基地所属固定翼機へ当本部職員が同乗し、目視観測（スケッチ）及び写真撮影を随時実施



海水観測中の航空機



観測中の職員



目視観測(スケッチ)図

2 巡視船艇による海水観測

- (1) 観測海域：オホーツク海南西海域など
- (2) 観測時期：1月～4月
- (3) 観測概要：①海水域を航行する巡視船艇による目視観測の随時実施
②巡視船そうやへ当本部職員が同乗し、搭載航空機による目視観測（スケッチ）及び写真撮影、流向流速計による流況調査、水温塩分計による調査を2月頃を実施



海水観測中の巡視船そうや



搭載航空機による海水観測



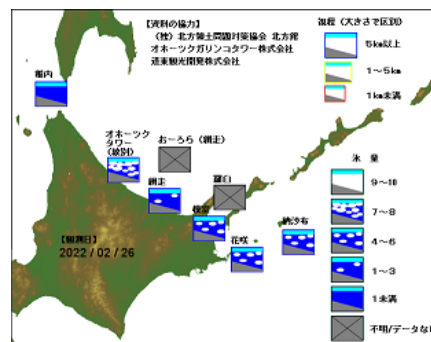
流向流速計による調査

3 事務所による海水観測

- (1) 実施場所：稚内、根室、網走、羅臼、花咲
- (2) 観測時期：12月～4月
- (3) 観測概要：事務所から海水目視観測を原則毎日午前中に実施



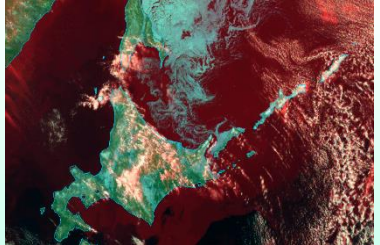
イメージ写真(保安署からの海水)



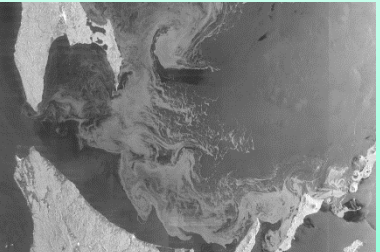
観測結果は沿岸観測状況として毎日webページに掲載

海水情報センターの業務(情報収集と情報提供)

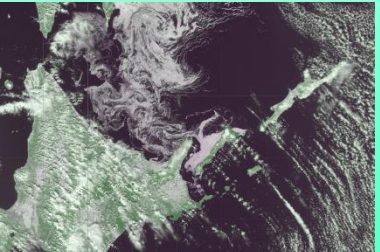
主な観測情報



人工衛星ひまわり (気象庁)



人工衛星だいち2号 (JAXA)



人工衛星TERRA/AQUA (東海大学)



ホークタワー (紋別) おーろら (網走) 北方館 (納沙布岬)

海水情報センター

海水の南下に併せ、毎年12月下旬～翌年4月末頃まで開所

主な業務

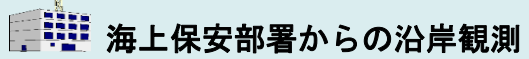
- ・海水観測資料の収集 (当庁による観測含む)
- ・観測情報の分析・整理
- ・海水速報の作成



巡視船艇による観測



航空機による観測



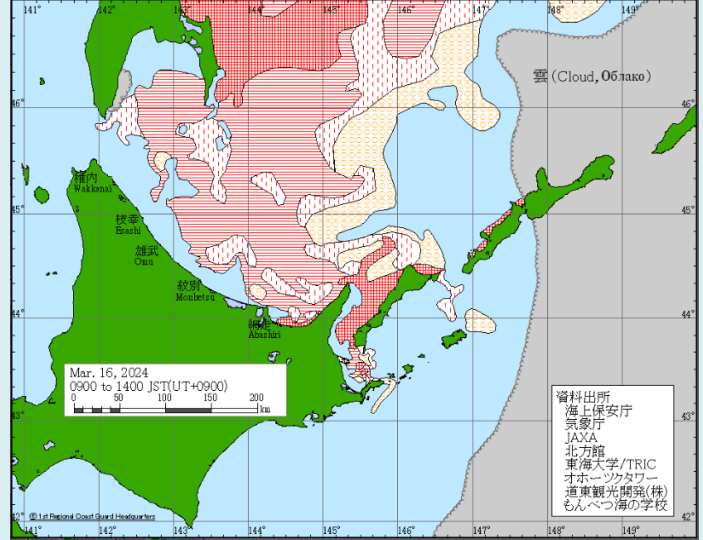
海上保安部署からの沿岸観測

海水情報の提供

- ・海水速報(Webサイト)
- ・海しる(Webサイト)
- ・航行警報(無線・Webサイト)
- ・海の安全情報(Webサイト、メール)
- ・AIS(船舶自動識別装置)

海水速報

毎日17時頃に更新



凡例 / Legend / Обозначение сплоченности льда в баллах

1-3	4-6	7-8	9-10	レーダー Radar Echo Радарное эхо	雲 Cloud Облако
-----	-----	-----	------	------------------------------	----------------

資料出所
海上保安庁
気象庁
JAXA
北方館
東海大学/TRIC
オホーツクタワー
道東観光開発(株)
もんべつ海の学校